

# 事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
21131	法河川維持管理事業	都市整備部	道路河川管理課	シートA	2
21132	浸水予防活動事業	都市整備部	道路河川管理課	シートA	3
21132	汚泥最終処分事業	都市整備部	道路河川管理課	シートA	4
21132	スクリーン等管理事業	都市整備部	道路河川管理課	シートA	5
21132	河川水路維持補修事業	都市整備部	道路河川管理課	シートA	6
21132	ポンプ場運転管理事業	都市整備部	道路河川管理課	シートA	7
21132	河川水門管理事業	都市整備部	道路河川管理課	シートA	8
21132	下水道台帳整備事業(下水排水路)	都市整備部	道路河川管理課	シートA	9
21132	下水排水路等整備事業	都市整備部	道路河川管理課	シートA	10
29999	河川等災害復旧事業	都市整備部	道路河川管理課	シートB	11
51111	道路等補修事業	都市整備部	道路河川管理課	シートB	13
51111	横断歩道橋補修工事業	都市整備部	道路河川管理課	シートA	15
51111	道路環境管理事業	都市整備部	道路河川管理課	シートA	16
51111	橋梁補修工事業	都市整備部	道路河川管理課	シートB	17
51111	直営維持管理事業	都市整備部	道路河川管理課	シートA	19
51111	一般事務費	都市整備部	道路河川管理課	シートA	20
51111	松山マイロードふれあい制度	都市整備部	道路河川管理課	シートB	21
51111	交通安全施設(二種)整備	都市整備部	道路河川管理課	シートA	23
51111	私道整備事業	都市整備部	道路河川管理課	シートA	24

令和4年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	河川・水路担当	連絡先	948-6521			
	部等長名	白石 浩人	課等長名	川口 征英	リーダー名	主幹	黒川 直樹	担当者名	副主幹	長曾我部 俊彰	
令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	河川・水路担当	連絡先	948-6521			
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	河野 雅憲	担当者名	副主幹	渡部 円太	技師 野本 朋寛

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	21131	法河川維持管理事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	災害等に強いまちをつくる					重点プロジェクト	-		
施策	防災対策等の推進					主な取り組み	-		
主な取り組み	浸水対策・がけ崩れ対策の推進				市長公約				
取り組みの柱	未整備の準用河川について、整備を早急に進めます。								
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等		河川法							
事業の目的(どのような状態にするか)	河川の流下断面不足の原因である堆積土砂等を計画的に浚渫し、河川災害の発生を防止するとともに、河川管理道路上の除草を行うことによって、流域住民の生活環境の保全を図る。								
背景(どのような経緯で開始したか)	洪水による災害発生の防止を行うことにより、流域住民の生命と財産を守る。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	松山市が管理している準用河川(10河川)を対象として、浚渫や除草、管理道路の安全施設設置などを行うために委託料等を支出。 委託先:(公社)松山市シルバー人材センターほか								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由					
始期・終期(年度)	~ 令和		4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	河川費		目	河川改修費	R3予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						7,152		6,796		11,396	
決算額(B)(単位:千円)						5,473		327			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金				0		0		0		0
	県支出金				0		0		0		0
	市債				0		0		0		7,200
	その他				0		0		0		0
	一般財源				5,473		327		4,196		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						使用料及び賃借料327千円(執行委任)		工事請負費9,200千円 委託料1,560千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								予算額のうち4,600千円は前年度繰越分			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		1,679		6,469			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	太山寺川の浚渫 太山寺川、光正寺川、傍示川、天王川の草刈りなど										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			清掃などの維持管理業務を計画的に行うことで、災害発生の防止に努めたため、施設損壊等が生じなかった。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		河川の適正管理により流域住民の生活環境の保全に努めることができたため。						
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			特に無し		
R4年度の目標	河川の流下断面不足の原因である堆積土砂等を計画的に浚渫し、河川災害の発生を防止するとともに、河川管理道路上の除草を行うことによって、流域住民の生活環境の保全を図る。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			浚渫及び草刈り業務		

令和4年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	河川・水路担当	連絡先	948-6521				
	部等長名	白石 浩人	課等長名	川口 征英	リーダー名	主幹	黒川 直樹	担当者名	副主幹	長曾我部 俊彰		
令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	河川・水路担当	連絡先	948-6521				
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	河野 雅憲	担当者名	副主幹	渡部 円太	技師	岸田 広夢

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	21132	浸水予防活動事業				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	災害等に強いまちをつくる					重点プロジェクト	-		
施策	防災対策等の推進					主な取り組み	-		
主な取り組み	浸水対策・がけ崩れ対策の推進				市長公約	-			
取り組みの柱	ポンプ場や雨水幹線を整備し、浸水被害の軽減を図ります。					-			
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-				-			
	施策	-				-			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等									
事業の目的(どのような状態にするか)	浸水被害が常習的で、特に床上浸水など集中的に甚大な被害を受ける地域の被害を未然に防ぐため事前に水防活動を行う。								
背景(どのような経緯で開始したか)	平成13年6月19日～20日の梅雨前線豪雨により甚大な浸水被害に見舞われたことを踏まえ、集中的に甚大な被害を受ける地域の被害を未然に防ぐため。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	浸水被害が常習的で、特に床上浸水など集中的に甚大な被害を受ける地域に対して、浸水被害に備え、土のうを作成し、大雨時に浸水被害が発生する恐れのある箇所へ、土のうの設置及び水防活動を行う。								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由						
始期・終期(年度)	～ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期					

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費		河川費		R3予算措置時期	当初
				項	目	目	目		
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				2,496		2,519		0	
決算額(B)(単位:千円)				1,681		453			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
	一般財源			1,681		453		0	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						職員手当等453千円		なし	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								令和3年度に完了したため、事業廃止	
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		815		2,066	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	土のう作成や浸水被害が発生する恐れのある箇所へ、土のう設置及び水防活動								
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			警戒体制を事前に整備することで、事前の応急対策に努めたため、被害を軽減・解消した。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		事前の水防活動を行い、浸水被害を未然に防いでいるため。				
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策				
R4年度の目標					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)				

令和4年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	河川・水路担当	連絡先	948-6521		
	部等長名	白石 浩人	課等長名	川口 征英	リダー名	主幹	黒川 直樹	担当者名	副主幹	長曾我部 俊彰
令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	河川・水路担当	連絡先	948-6521		
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リダー名	副主幹	河野 雅憲	担当者名	技師	岸田 広夢

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	21132	汚泥最終処分事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	災害等に強いまちをつくる			重点プロジェクト	-	
施策	防災対策等の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	浸水対策・がけ崩れ対策の推進		市長公約	-		
取り組みの柱	ポンプ場や雨水幹線を整備し、浸水被害の軽減を図ります。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	下水排水路等の除去した汚泥等を搬出・処分することにより、浸水・悪臭の防止を図り、市民の生活環境の保全及び向上に寄与する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	下水排水路の浚渫等で発生する汚泥を処分し、浸水・悪臭を防ぐため。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	市内の下水排水路について、町内会・土地改良区等及び直営作業で、下水排水路等を浚渫・洗浄した汚泥及びスクリーン等にかかるゴミ等を排出し最終処分を行うために委託料等を支出					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費		河川費		目	下水排水路費	R3予算措置時期	当初
				項							
				R2年度		R3年度		R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				70,853		74,284		80,000			
決算額(B)(単位:千円)				53,202		58,670		80,000			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0			
	県支出金			0		0		0			
	市債			0		0		0			
	その他			0		0		0			
	一般財源			53,202		58,670		80,000			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						委託料51,914千円		委託料70,400千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用による減あり。					
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		17,651		15,614			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	下水排水路等を浚渫・洗浄した汚泥及びスクリーン等にかかるゴミ等を搬出し最終処分。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	浚渫・洗浄した汚泥・ゴミ等を事前に搬出・処分することで、浸水・悪臭等の事前対策に努めたため、被害を軽減・解消した。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	下水排水路等から除去した汚泥等を排出・処分し、浸水・悪臭の防止を図ることで、市民の生活環境の保全及び向上に寄与しているため。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特に無し
R4年度の目標	下水排水路等の除去した汚泥等を搬出・処分することにより、浸水・悪臭の防止を図り、市民の生活環境の保全及び向上に寄与する。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		下水排水路等を浚渫・洗浄した汚泥及びスクリーン等にかかるゴミ等を搬出し最終処分。

令和4年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	河川・水路担当	連絡先	948-6521				
	部等長名	白石 浩人	課等長名	川口 征英	リーダー名	主幹	黒川 直樹	担当者名	副主幹	長曾我部 俊彰	主任	山下 博史
令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	河川・水路担当	連絡先	948-6521				
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	河野 雅憲	担当者名	主任	山下 博史		

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	21132	スクリーン等管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	災害等に強いまちをつくる			重点プロジェクト	-		
施策	防災対策等の推進			主な取り組み	-		
主な取り組み	浸水対策・がけ崩れ対策の推進		市長公約	-			
取り組みの柱	ポンプ場や雨水幹線を整備し、浸水被害の軽減を図ります。			-			
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等							
事業の目的(どのような状態にするか)	浸水及び事故の防止を図り、生活環境の保全向上に資する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	浸水被害を防ぐためにスクリーン等の維持管理を行う必要があるため(昭和54年以前)						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	市内の下水排水路に設置しているスクリーンについて、ゴミ等の除去及び樋門の操作を行う。						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	昭和	54	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	河川費	目	下水排水路費	R3予算措置時期	当初
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)						2,607		2,470		2,446
決算額(B)(単位:千円)						2,427		2,418		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳			国支出金			0		0		0
			県支出金			0		0		0
			市債			0		0		0
			その他			0		0		0
			一般財源			2,427		2,418		2,446
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算							報償費2,329千円		報償費2,329千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			180		52		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	市内の下水排水路に設置しているスクリーン等にかかるゴミ等の除去及び樋門の操作。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	スクリーン等にかかるゴミ等の除去及び樋門の操作をすることで、浸水対策に努めたため、被害を軽減・解消した。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	スクリーン等の適正管理により、市民の生活環境保全に努めることができたため。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		
R4年度の目標	浸水及び事故の防止を図り、生活環境の保全向上に資する。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		市内の下水排水路に設置しているスクリーン等にかかるゴミ等の除去及び樋門の操作。

令和4年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	総務担当	連絡先	932-0646			
	部等長名	白石 浩人	課等長名	川口 征英	リダー名	主幹	山本 浩司	担当者名	主事	倉岡 仁	
令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	総務担当	連絡先	932-0646			
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リダー名	副主幹	山本 浩司	担当者名	主事	倉岡 仁	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	21132	河川水路維持補修事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	災害等に強いまちをつくる			重点プロジェクト	-	
施策	防災対策等の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	浸水対策・がけ崩れ対策の推進		市長公約	-		
取り組みの柱	ポンプ場や雨水幹線を整備し、浸水被害の軽減を図ります。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	道路法第16条(市町村道の管理)、道路法第42条(道路の維持又は修繕)					
事業の目的(どのような状態にするか)	下水排水路の機能を保持し、浸水・悪臭等の防止を図り生活環境の保全向上に資する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	下水排水路を適正に管理し、浸水・悪臭等を防止する必要があったため。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	市内一円の下水排水路。洗浄・浚渫・詰り抜き・陥没補修・マンホール蓋維持修繕等を実施する。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費		項	河川費		目	下水排水路費	R3予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度		R4年度					
現計予算額(A)(単位:千円)					32,534			16,640			15,352	
決算額(B)(単位:千円)					25,152			15,497				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金				0			0			0	
	県支出金				0			0			0	
	市債				0			0			0	
	その他				0			0			0	
	一般財源				25,152			15,497			15,352	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							需用費7,371千円 原材料費5,212千円 修繕料3,108千円			原材料費5,986千円 需用費5,688千円 委託料2,200千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							流用による増あり					
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		7,382			1,143				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	洗浄・浚渫・詰り抜き・陥没補修・マンホール蓋維持修繕等を実施する。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	適切な事業の実施が出来た。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	市内一円の下水排水路等の機能を保持することにより、浸水・悪臭等の軽減が図れた。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	特になし。		
R4年度の目標	下水排水路の機能を保持し、浸水・悪臭等の防止を図り生活環境の保全向上に資する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	洗浄・浚渫・詰り抜き・陥没補修・マンホール蓋維持修繕等を実施する。		

令和4年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	河川・水路担当	連絡先	948-6521				
	部等長名	白石 浩人	課等長名	川口 征英	リダー名	主幹	黒川 直樹	担当者名	副主幹	長曾我部 俊彰		
令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	河川・水路担当	連絡先	948-6521				
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リダー名	副主幹	河野 雅憲	担当者名	技師	成松 亮弥	技師	岸田 広夢

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	21132	ポンプ場運転管理事業				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	災害等に強いまちをつくる					重点プロジェクト	-		
施策	防災対策等の推進					主な取り組み	-		
主な取り組み	浸水対策・がけ崩れ対策の推進				市長公約				
取り組みの柱	ポンプ場や雨水幹線を整備し、浸水被害の軽減を図ります。								
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等									
事業の目的(どのような状態にするか)	ポンプ場等の運転管理により、下水排水路の機能を確保し、浸水防止を図り生活環境の保全向上に資する。								
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和44年の中須賀ポンプ場設置に伴う。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	雨水排水ポンプ場について、施設の運転・点検・管理を行うために委託料等を支出								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由					
始期・終期(年度)	昭和	44	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	河川費	目	下水排水路費	R3予算措置時期	
									当初	
				R2年度			R3年度			R4年度
現計予算額(A)(単位:千円)				184,448			86,833			83,225
決算額(B)(単位:千円)				160,997			79,593			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0			0			0
	県支出金			0			0			0
	市債			0			0			0
	その他			0			0			0
	一般財源			160,997			79,593			83,225
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算				需要費(光熱水費)28,279千円 工事請負費27,349千円 委託料21,059千円			需要費(光熱水費)29,260千円 工事請負費27,000千円 委託料24,692千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				流用による減あり						
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)			23,451			7,240

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	下水排水路の排水に必要な排水ポンプ場等の運転・点検・管理。								
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			ポンプ場の運転管理をすることで、浸水対策に努めたため、被害を軽減・解消した。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		ポンプ場の適正な維持管理により、市民の生活環境保全に努めることができたため。					
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			特に無し	
R4年度の目標	ポンプ場の運転管理により、下水排水路の機能を確保し、浸水防止を図り生活環境の保全向上に資する。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			下水排水路の排水に必要な排水ポンプ場等の運転・点検・管理を行う。	

令和4年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	河川・水路担当	連絡先	948-6521				
	部等長名	白石 浩人	課等長名	川口 征英	リダー名	主幹	黒川 直樹	担当者名	副主幹	長曾我部 俊彰	主任	山下 博史
令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	河川・水路担当	連絡先	948-6521				
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リダー名	副主幹	河野 雅憲	担当者名	主任	山下 博史	技師	岸田 広夢

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	21132	河川水門管理事業				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	災害等に強いまちをつくる					重点プロジェクト	-		
施策	防災対策等の推進					主な取り組み	-		
主な取り組み	浸水対策・がけ崩れ対策の推進				市長公約				
取り組みの柱	ポンプ場や雨水幹線を整備し、浸水被害の軽減を図ります。								
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等									
事業の目的(どのような状態にするか)	河川水門の管理により、浸水等を防止し生活環境の保全向上に資する。								
背景(どのような経緯で開始したか)	浸水等の防止のため、水門や樋門を維持管理する必要があるため。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	市が管理する水門・樋門について、河川の流水の制御に必要な河川水門の維持管理を行うために委託料等を支出								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由					
始期・終期(年度)	~ 令和		4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	河川費		目	下水排水路費	R3予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						15,338			10,670		13,732
決算額(B)(単位:千円)						14,577			12,254		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金				0				0		0
	県支出金				1,047				1,195		1,190
	市債				0				0		0
	その他				0				0		0
一般財源				13,530				11,059		12,542	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算						委託料7,893千円 需用費1,771千円				委託料8,532千円 工事請負費3,000千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用による増あり					
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		761				-1,584			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	市内36箇所の水門・樋門の運転管理や保守点検を行う。										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		河川水門の運転管理・保守点検をすることで、浸水対策に努めたため、被害を軽減・解消した。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		水門・樋門の適正な維持管理により、市民の生活環境保全に努めることができたため。						
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特に無し			
R4年度の目標	水門・樋門の維持管理を行い、浸水被害等を未然に防ぐ。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		市内36箇所の水門・樋門の運転管理や保守点検。			

令和4年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	河川・水路担当	連絡先	948-6521				
	部等長名	白石 浩人	課等長名	川口 征英	リダー名	主幹	黒川 直樹	担当者名	副主幹	長曾我部 俊彰		
令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	河川・水路担当	連絡先	948-6521				
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リダー名	副主幹	河野 雅憲	担当者名	副主幹	渡部 円太	技師	野本 朋寛

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	21132	下水道台帳整備事業(下水排水路)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	災害等に強いまちをつくる					重点プロジェクト	-		
施策	防災対策等の推進					主な取り組み	-		
主な取り組み	浸水対策・がけ崩れ対策の推進				市長公約				
取り組みの柱	ポンプ場や雨水幹線を整備し、浸水被害の軽減を図ります。								
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等									
事業の目的(どのような状態にするか)	情報の共有化を図るため、(下水道認可区域外に布設されている)下水排水路の実態(管路の位置、埋設深さ、管種、マンホールの形状、排水経路)を把握する。								
背景(どのような経緯で開始したか)	下水道認可区域外の下水排水路の実態や工事履歴等が把握されていないため、地下埋設物の協議や道路計画等に支障があった。そのため、下水排水路の状況を台帳化することにより、情報の共有化を図る。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	公共下水道処理区域外の下水排水路の測量調査及び都市情報システムへのデータ入力に委託料を支出								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由						
始期・終期(年度)	昭和	58	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	河川費	目	下水排水路費	R3予算措置時期	当初	R4年度		
											R2年度	R3年度	R4年度
現計予算額(A)(単位:千円)						6,423		12,859					11,907
決算額(B)(単位:千円)						6,272		11,020					
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金					0		0					0
	県支出金					0		0					0
	市債					0		0					0
	その他					0		0					0
	一般財源						6,272		11,020				
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算								委託料7,590千円					委託料8,100千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								流用による減あり					
予算執行残額(単位:千円)						(A)-(B)		151					1,839

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	市内一円30haの排水路台帳整備を行った。										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			下水排水路の情報を台帳化することで、情報を共有したため、事業が円滑化した。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由			本事業の実施により下水排水路事業の円滑な管理に寄与しているため					
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			特に無し			
R4年度の目標	引き続き、下水道台帳(下水排水路)の整備に努める。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			排水路台帳作成及び台帳入力			

令和4年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	河川・水路担当	連絡先	948-6521			
	部等長名	白石 浩人	課等長名	川口 征英	リーダー名	主幹	黒川 直樹	担当者名	副主幹	長曾我部 俊彰	
令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	河川・水路担当	連絡先	948-6521			
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	河野 雅憲	担当者名	技師	成松 亮弥	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	21132	下水排水路等整備事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	災害等に強いまちをつくる					重点プロジェクト	-			
施策	防災対策等の推進					主な取り組み	-			
主な取り組み	浸水対策・がけ崩れ対策の推進				市長公約					
取り組みの柱	ポンプ場や雨水幹線を整備し、浸水被害の軽減を図ります。									
総合戦略	基本目標	-				取組み	-			
	政策	-								
	施策	-								
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し							
根拠法令,条例,個別計画等										
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市内にある法定外水路の老朽化及び断面不足による排水不良や浸水被害を解消するため、緊急度の高い場所から改良整備を行い、生活環境及び環境の改善を図る。									
背景(どのような経緯で開始したか)	下水道未整備の在来水路は、宅地化に伴い生活雑排水等が排水され、環境衛生上放置できない現状となっており、田畑等の改廃に伴う遊水地の激減や断面不足等による排水不良により、降雨時に浸水をきたし、市民生活に大きな影響を与えているため。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	松山市内にある法定外水路に対して水路の管理者である地元土地改良区や水利組合からの申請を受け、緊急度の高い箇所から順次整備を行うために工事請負費等を支出									
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し		「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由	不特定多数の方が利用する公共物のため					
始期・終期(年度)	~ 令和		4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期					

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	河川費	目	下水排水路費	R3予算措置時期	
									当初	9月補正
				R2年度			R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				815,588			657,864		407,521	
決算額(B)(単位:千円)				415,301			516,283			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金			0			0		0	
	県支出金			0			0		0	
	市債			0			0		4,000	
	その他			1,269			0		0	
一般財源			414,032			516,283		403,521		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算				工事請負費477,859千円 委託料28,279千円 補償補填及び賠償金9,024千円			工事請負費347,973千円 委託料55,141千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越、補正、流用、事業統合等				予算額のうち228,818千円は前年度繰越分 9月補正で164,314千円追加			予算額のうち140,114千円は前年度繰越分			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)			400,287		141,581	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	松山市内にある法定外水路の老朽化及び断面不足による排水不良や浸水被害を解消するため、緊急度の高い箇所から改良整備を行い、生活環境及び環境の改善を図る。								
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点、悪かった点など			断面不足等による排水不良の水路を計画的に整備することで、浸水の防止に努めたため、被害を軽減・解消した。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		本事業の実施により、生活環境の向上や浸水被害の軽減に寄与しているため。				
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	特に無し				環境変化、障害、課題等解決のため、R4年度で取り組む改善策		特に無し		
R4年度の目標	引き続き水路整備により、生活環境の向上や浸水被害の軽減に努める。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		緊急度の高い箇所から改良整備を行い、生活環境及び環境の改善を図る。		

令和4年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	河川・水路担当	連絡先	948-6521		
	部等長名	白石 浩人	課等長名	川口 征英	リダー名	主幹	黒川 直樹	担当者名	副主幹	長曾我部 俊彰
令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	河川・水路担当	連絡先	948-6521		
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リダー名	副主幹	河野 雅憲	担当者名	技師	岸田 広夢

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	29999	河川等災害復旧事業			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	その他					重点プロジェクト	-	
施策	その他					主な取り組み	-	
主な取り組み	その他				市長公約	431	元気な産業を応援し、成長する松山をつくります	
取り組みの柱	その他						西日本豪雨からの一刻も早い復旧をはじめ、担い手の確保や地域・大学と連携した有害鳥獣対策など、松山の農業を守ります。また、ブランド商品の販路拡大、6次産業化の促進など、儲かる農林水産業を推進します。	
総合戦略	基本目標	-			取組み	-		
	政策	-						
	施策	-						
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等								
事業の目的(どのような状態にするか)	「平成30年7月豪雨災害」及び「令和2年7月豪雨災害」で被災した水路の復旧工事を実施して適切な通水機能を確認し、浸水被害の拡大防止を図る。							
背景(どのような経緯で開始したか)	「平成30年7月豪雨災害」及び「令和2年7月豪雨災害」で被災した水路の復旧工事を実施する。							
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	松山市内にある法定外水路に対して水路の管理者である地元土地改良区や水利組合からの申請を受け、緊急度の高い箇所から順次整備を行うために工事請負費等を支出							
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由		不特定多数の方が利用する公共物のため			
始期・終期(年度)	~ 令和		3	終期の種別	1:事業の終了時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	災害復旧費		項	土木施設災害復旧費		目	河川災害復旧費		R3 予算措置時期	繰越
				R2年度	R3年度		R3年度	R4年度					
現計予算額(A)(単位:千円)				244,204	108,292						0		
決算額(B)(単位:千円)				71,887	28,064								
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0	0						0		
	県支出金			0	0						0		
	市債			71,500	27,900						0		
	その他			0	0						0		
一般財源			387	164							0		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						工事請負費14,707千円 委託料13,357千円				なし			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						予算額は,前年度繰越分。事業完了。				災害復旧事業が令和3年度に完了したため事業廃止			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		172,317		80,228					

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため,実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	熊田水路復旧工事外63箇所(繰越16箇所・補正47箇所)										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			水路復旧工事を順次実施することで,水路機能の復旧に努めたため,被害の拡大を防止した。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		本事業の実施により,水路機能復旧に寄与しているため。						
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策							
R4年度の目標				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)							

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	水路整備箇所	箇所	目標値	337	403	403	—	—	目標値	403	
			実績値	303	366	403			達成年度	R3年度	
			% 達成度	90	91	100					
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	計画している箇所数全ての整備を目指すため			
	本指標の設定理由	本事業の目的とする指標であるため									
	災害土砂撤去	率	目標値	—	100	100	—	—	目標値	100	
			実績値	—	0	100			達成年度	R3年度	
			% 達成度	—	0	100					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	上怒和に仮置きしている災害土砂の撤去・処分の終了を目指すため			
	本指標の設定理由	本事業の目的とする指標であるため									
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	被災した水路の復旧が完了した。									
	成果指標										
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合,その内容											

令和4年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	道路担当	連絡先	948-6478
	部等長名	白石 浩人	課等長名	川口 征英	リダー名	主査	担当者名	主任 山下 潤一郎
令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	道路担当	連絡先	948-6478
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リダー名	副主幹	担当者名	主任 須井 健次

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51111	道路等補修事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	居住環境の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	生活道路等の整備・維持管理		市長公約	-		
取り組みの柱	道路パトロールを実施するとともに、市民ボランティアの活用を図り、道路やカーミラーなどの交通安全施設の適切な整備・維持管理に努めます。また、ライフサイクルコストの縮減を図るため、予防的な修繕及び計画的な改修・更新を行います。			-		
総合戦略	4311	基本目標	④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)			
		政策	③人口減少等を踏まえた既存ストックのマネジメント強化			
		施策	①官と民の既存ストックのマネジメント強化			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等	道路法第16条(市町村道の管理)、道路法第42条(道路の維持又は修繕)、松山市道路施設維持管理計画					

事業の目的(どのような状態にするか)	市道の路面や道路施設等を適切に維持管理することで、事故の防止と通行の円滑化を行うことを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	舗装や道路施設の老朽化などで歩行者や車両の通行に支障をきたさないよう、適切に維持管理する必要がある。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	市道や道路施設を対象に、日常のパトロール、路面定期点検、通報などに基づき、補修工事を実施する。					
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合,基準や金額等	「無し」の場合,その理由	市道等の維持管理であるため。	
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	松山市一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費	目	道路橋梁維持費	R3 予算措置時期	当初	9月補正	繰越
				R2年度			R3年度			R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				702,776			673,523			349,795		
決算額(B)(単位:千円)				635,333			589,000					
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			13,730			22,922			36,802		
	県支出金			0			0			0		
	市債			35,400			75,500			95,900		
	その他			101,380			101,253			98,000		
	一般財源			484,823			389,325			119,093		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				工事請負費 569,512千円 委託料 13,202千円			工事請負費 338,331千円 委託料 11,458千円					
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				9月補正で331,500千円追加 流用による増あり			予算額のうち78,289千円は前年度繰越分					
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B) 67,443			84,523					

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	市道の舗装補修工事 路面下空洞調査業務委託 道路排水施設工事、法面・路肩復旧工事											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			適切な事業の実施ができた。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		道路施設の適切な維持管理に努めた。							
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない					公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	道路や道路施設の老朽化により、維持管理が必要な箇所が増大しているため、補修・更新等を効率的かつ計画的に行う必要がある。					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			引き続き道路や道路施設の適切な維持管理に努める。			
R4年度の目標	道路や道路施設を対象に、舗装補修工事等を適切に実施する。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			市道の舗装補修工事 路面下空洞調査業務委託 道路排水施設工事、法面・路肩復旧工事			

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標	
活動指標 (3つまで設定可)	道路機能保安対策事業等施工箇所(社総金+公適債)	路線	目標値	-	7	16	17		目標値	23
			実績値	6	13	22		達成年度	R5	
			% 達成度	-	57%	100%				
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	計画に基づいた目標値で、R2年度からの累計とする。			
	本指標の設定理由	工事計画に基づいた指標であるため。								
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
	%	達成度								
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
	%	達成度								
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	適切に事業実施できている。								
	成果指標									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容										

令和4年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	道路担当	連絡先	948-6478
	部等長名	白石 浩人	課等長名	川口 征英	リダー名	主査	担当者名	主任 山下 潤一郎
令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	道路担当	連絡先	948-6478
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リダー名	副主幹	担当者名	主任 須井 健次

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51111	横断歩道橋補修工事事業			事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-	
施策	居住環境の整備					主な取り組み	-	
主な取り組み	生活道路等の整備・維持管理				市長公約	-		
取り組みの柱	道路パトロールを実施するとともに、市民ボランティアの活用を図り、道路やカーミラーなどの交通安全施設の適切な整備・維持管理に努めます。また、ライフサイクルコストの縮減を図るため、予防的な修繕及び計画的な改修・更新を行います。					-		
総合戦略	基本目標	-			取組み	-		
	政策	-				-		
	施策	-				-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等 道路法第16条(市町村道の管理)、道路法第42条(道路の維持又は修繕)								
事業の目的(どのような状態にするか)	市が所有する横断歩道橋を適切に維持管理することで、事故の防止と通行の円滑化を目的とする。							
背景(どのような経緯で開始したか)	経年劣化等による損傷が顕著になってきたことから、計画的に補修工事を進める必要がある。							
対象・事業内容(誰に対して、何をするのか)	市が所有する13橋の横断歩道橋について、定期点検を行うとともに、年間1〜2橋ずつ計画的に塗り替えなどの補修工事を実施する。							
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由		一般の用に供される道路施設であるため。			
始期・終期(年度)	平成	14	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	松山市一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費		目	道路橋梁維持費	R3予算措置時期	当初	繰越
						R2年度	R3年度					
現計予算額(A)(単位:千円)						32,500			13,530			178,000
決算額(B)(単位:千円)						21,926			15,743			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金					11,169			8,593			97,900
	県支出金					0			0			0
	市債					6,900			0			72,000
	その他					0			0			0
一般財源					3,857				7,150			8,100
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						委託料15,743千円			委託料 178,000千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						予算額は、前年度繰越額。流用による増あり。 R3年度現年事業は、実施を見送り、次年度に向けた事業内容の精査を行った。			和気駅跨線道路橋塗装工事による増			
予算執行残額(単位:千円)						(A)-(B)	10,574		-2,213			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	横断歩道橋点検業務委託											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			適切な事業の実施ができた。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		令和4年度の工事に向けた点検を行うことができた。							
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない					公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	老朽化により維持管理費用が増大していくため、補修・更新等を効率的かつ計画的に行う必要がある。					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			R3に実施した点検結果を踏まえ、横断歩道橋長寿命化修繕計画を見直し、判定Ⅲとなった横断歩道橋の修繕時期を明確にする。			
R4年度の目標	和気駅跨線道路橋の塗装工事に着手する。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			和気駅跨線道路橋の塗装工事に着手する。			

令和4年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6471		
	部等長名	白石 浩人	課等長名	川口 征英	リーダー名	主幹	山本 浩司	担当者名	副主幹	石本 誠
令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6471		
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	石本 誠	担当者名	主任	井出 勝也

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(実施コード)	51111	道路環境管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-		
施策	居住環境の整備			主な取り組み	-		
主な取り組み	生活道路等の整備・維持管理		市長公約	-			
取り組みの柱	道路パトロールを実施するとともに、市民ボランティアの活用を図り、道路やカーミラーなどの交通安全施設の適切な整備・維持管理に努めます。また、ライフサイクルコストの縮減を図るため、予防的な修繕及び計画的な改修・更新を行います。			-			
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	道路法第16条(市町村道の管理)、道路法第42条(道路の維持又は修繕)						
事業の目的(どのような状態にするか)	路面、道路照明灯、街路樹などについて、通行に支障が無いよう道路環境の維持管理を行う。						
背景(どのような経緯で開始したか)	路面、道路照明灯、街路樹は、定期的かつ適切な維持管理が必要である。						
対象・事業内容(誰に対して、何をするのか)	路面、道路照明灯、街路樹等の維持管理を適切に行う。						
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	市道等の環境整備を図るため。			
始期・終期(年度)	平成	14	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費		目	道路橋梁維持費	R3予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						161,785			155,200		156,048
決算額(B)(単位:千円)						156,825			157,506		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			0			0		0
			県支出金			0			0		0
			市債			0			0		0
			その他			0			0		0
			一般財源			156,825			157,506		156,048
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								委託料103,258千円 需用費54,248千円		委託料102,920千円 需用費53,000千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								「道路清掃事業」「道路照明灯維持管理事業」「街路樹管理事業」を統合し、「道路環境管理事業」とした。 流用による増あり			
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			4,960			-2,306		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	街路樹管理業務委託、道路区域草刈等業務委託、道路清掃業務委託										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			適切な事業の実施が出来た。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		本事業の実施により、市道等の適切な維持管理に努めた。						
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			引き続き適切な事業実施に努める。				
R4年度の目標	市道等維持管理を適切に行う。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			道路照明灯の補修等				

令和4年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	道路担当	連絡先	948-6478		
	部長名	白石 浩人	課等長名	川口 征英	リーダー名	主査	担当者名	主任	山下 潤一郎	
令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	道路担当	連絡先	948-6478		
	部長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	担当者名	主任	須井 健次	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51111	橋梁補修工事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	居住環境の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	生活道路等の整備・維持管理		市長公約	-		
取り組みの柱	道路パトロールを実施するとともに、市民ボランティアの活用を図り、道路やカーミラーなどの交通安全施設の適切な整備・維持管理に努めます。また、ライフサイクルコストの縮減を図るため、予防的な修繕及び計画的な改修・更新を行います。			-		
総合戦略	4311	基本目標 ④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)	取組み	① 公共施設等総合管理計画等に基づき、道路施設や市営住宅、漁港・港湾施設、上下水道、学校施設等の施設類型ごとに財源の見直しを踏まえた改修・更新等の具体的な対応方針を定める個別施設計画を策定し、マネジメントの強化に努めます。また、策定した個別施設計画を踏まえて総合管理計画を改訂し、内容を充実させます。		
		政策 ③人口減少等を踏まえた既存ストックのマネジメント強化				
		施策 ①官と民の既存ストックのマネジメント強化				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		

根拠法令,条例,個別計画等	道路法第16条(市町村道の管理)、道路法第42条(道路の維持又は修繕)、松山市道路橋梁長寿命化修繕計画					
事業の目的(どのような状態にするか)	道路橋梁を適切に維持管理し、長寿命化及び維持管理コストの平準化を図る。					
背景(どのような経緯で開始したか)	道路橋梁の老朽化などで歩行者や車両の通行に支障をきたさないよう、計画的に橋梁を維持管理する必要がある。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	道路橋梁を対象に工事を行う機能を回復するとともに、橋梁の長寿命化を図る。あわせて、法定点検を実施する必要があるため、計画的に点検、調査を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合,基準や金額等	「無し」の場合,その理由		
			市道等の維持管理であるため。			
始期・終期(年度)	平成	14	～	令和	4	終期の種別
						2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	松山市一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費		R3 予算措置時期	当初	繰越		
						目	道路橋梁維持費					
						R2年度	R3年度			R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)							317,384			632,542	530,118	
決算額(B)(単位:千円)							77,569			282,117		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳							国支出金			38,796	94,242	202,158
							県支出金			0	0	0
							市債			16,800	121,400	266,300
							その他			0	0	
							一般財源			21,973	66,475	61,660
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							工事請負費 126,460千円 委託料 131,615千円			工事請負費 442,478千円 委託料 107,640千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										予算額のうち、250,118千円は、前年度繰越額		
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)				239,815			350,425		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	橋梁定期点検 橋梁補修工事					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	適切な事業の実施ができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	橋梁の適切な維持管理に努めた。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	橋梁の老朽化により、維持管理が必要な箇所が増大しているため、補修・更新等を効率的かつ計画的に行う必要がある。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	引き続き橋梁の適切な維持管理に努める。	
R4年度の目標	橋梁の補修工事等を適切に実施する。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	橋梁定期点検 橋梁補修工事	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	長寿化対策着手重要橋梁数	路線	目標値	15	19	21	23		目標値	23	
			実績値	15	19	21		達成年度	R5		
		%	達成度	65%	83%	91%					
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	令和5年度までに、重要橋梁全155橋のうち対策橋梁23橋の長寿化対策に着手する。 達成度は、着手数/23。				
	本指標の設定理由	松山市道路橋長寿化修繕計画に基づいた長寿化対策について、着手年度の委託数をカウント)									
	活動指標		目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
		本指標の設定理由									
活動指標		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
成果指標 (3つまで設定可)		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
	成果指標		目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
		本指標の設定理由									
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	適切に事業実施できている。									
	成果指標										
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	総務担当	連絡先	932-0646		
	部等長名	白石 浩人	課等長名	川口 征英	リダー名	主幹	山本 浩司	担当者名	主任	倉岡 仁
令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	総務担当	連絡先	932-0646		
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リダー名	副主幹	山本 浩司	担当者名	主任	倉岡 仁

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51111	直営維持管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	居住環境の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	生活道路等の整備・維持管理		市長公約	-		
取り組みの柱	道路パトロールを実施するとともに、市民ボランティアの活用を図り、道路やカーミラーなどの交通安全施設の適切な整備・維持管理に努めます。また、ライフサイクルコストの縮減を図るため、予防的な修繕及び計画的な改修・更新を行います。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	道路法第16条(市町村道の管理)、道路法第42条(道路の維持又は修繕)					
事業の目的(どのような状態にするか)	道路河川管理課緑町分室にて、簡易な舗装補修工事、土木工事、除草、側溝及び水路の清掃等を行うとともに、市民等からの、緊急通報(陥没等)に対して迅速に対応することにより、市道の安全確保を図ることを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	道路パトロールで発見した異常箇所や、市民等からの通報に対しても迅速に対応し、道路の保全、安全性の確保を図る。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	簡易な舗装補修工事、土木工事、除草、側溝及び水路の清掃等を道路河川管理課緑町分室作業員で実施する。					
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	市道等の環境整備を図るため。		
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費		R3予算措置時期	当初
						目	道路橋梁維持費		
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				59,696		44,549		52,799	
決算額(B)(単位:千円)				50,472		42,480			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			244		243		200	
	一般財源			50,228		42,237		52,599	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						原材料費23,780千円 需用費10,808千円		原材料費23,000千円 需用費11,495千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用による減あり			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		9,224		2,069	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	簡易な舗装補修工事、土木工事、除草、側溝及び水路の清掃、陥没等の緊急対応。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	適切な事業の実施が出来た。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、市道等の適切な維持管理に努めた。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	道路の老朽化により維持管理費が増大していくため、補修・更新等を効率的かつ計画的に行う必要がある。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		引き続き市道の適切な維持管理に努める。
R4年度の目標	市道の不具合に対して、迅速に対応する。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		簡易な舗装補修工事、土木工事、除草、側溝及び水路の清掃、陥没等の緊急対応

令和4年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6471		
	部等長名	白石 浩人	課等長名	川口 征英	リダー名	主幹	山本 浩司	担当者名	副主幹	石本 誠
令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6471		
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リダー名	副主幹	石本 誠	担当者名	主事	佐伯 有加里

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51111	一般事務費	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	居住環境の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	生活道路等の整備・維持管理		市長公約	-		
取り組みの柱	道路パトロールを実施するとともに、市民ボランティアの活用を図り、道路やカーミラーなどの交通安全施設の適切な整備・維持管理に努めます。また、ライフサイクルコストの縮減を図るため、予防的な修繕及び計画的な改修・更新を行います。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	道路法第16条(市町村道の管理)、道路法第42条(道路の維持又は修繕)					
事業の目的(どのような状態にするか)	市道の適切な維持管理に要する一般事務を行うことを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	道路法に基づき、市道の適切な維持管理を行う必要がある。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	市道の適切な維持管理に要する事務的経費					
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	市道等の環境整備を図るため。		
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費		R3予算措置時期	当初
						目	道路橋梁維持費		
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				15,248		15,526		15,922	
決算額(B)(単位:千円)				15,956		16,119			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			1,624		1,403		2,000	
	一般財源			14,332		14,716		13,922	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						委託料5,973千円 需用費3,486千円 役務費3,463千円		委託料6,030千円 需用費3,802千円 役務費3,548千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用による増あり			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		-708		-593	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	市道の適切な維持管理に要する事務的経費					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	適切な事業の実施が出来た。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、市道等の適切な維持管理に努めた。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし。	
R4年度の目標	市道の適切な維持管理に努める		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		市道の維持管理に要する事務的経費を適切に執行する	

令和4年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6471		
	部等長名	白石 浩人	課等長名	川口 征英	リーダー名	主幹	担当者名	主事	重松 あすか	
令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6471		
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リーダー名	副主幹	担当者名	主事	重松 あすか	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51111	松山マイロードふれあい制度	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	居住環境の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	生活道路等の整備・維持管理		市長公約	-		
取り組みの柱	道路/パトロールを実施するとともに、市民ボランティアの活用を図り、道路やカーミラーなどの交通安全施設の適切な整備・維持管理に努めます。また、ライフサイクルコストの縮減を図るため、予防的な修繕及び計画的な改修・更新を行います。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	まつやまマイロードサポーター事業実施要綱、まつやまマイロードコミュニティ事業補助金交付要綱、まつやまマイロード照明灯スポンサー事業実施要綱					
事業の目的(どのような状態にするか)	市道の環境美化活動等を通して、身近な存在である市道に愛着を持っていただくことを目的としている。					
背景(どのような経緯で開始したか)	「まつやまマイロードサポーター事業」については、平成23年度にロードサポーター加入要件を緩和し、2名以上で参加できるプチサポーターを追加した。「まつやまマイロードサポーター事業」のほか、「まつやまマイロードコミュニティ事業」と「まつやまマイロード照明灯スポンサー事業」を加え、「松山マイロードふれあい制度」とした。					
対象・事業内容(誰に対して、何をするのか)	・まつやまマイロードサポーター事業 ・まつやまマイロードコミュニティ事業 ・まつやまマイロード照明灯スポンサー事業					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	平成 23	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費		目	道路橋梁維持費	R3 予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						1,240			1,345		1,390
決算額(B)(単位:千円)						1,204			1,145		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳			国支出金			0			0		0
			県支出金			0			0		0
			市債			0			0		0
			その他			0			0		0
			一般財源			1,204			1,145		1,390
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算								需用費654千円		需用費1,170千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								流用による減あり			
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			36			200		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	まつやまマイロードサポーター事業 まつやまマイロードコミュニティ事業 まつやまマイロード照明灯スポンサー事業					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	適切な制度の実施に努めた		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	市民ボランティアの活用を図り、道路の適切な維持管理に貢献することができたため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特に無し	
R4年度の目標	制度の実施を適切に行う。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		まつやまマイロードサポーター事業 まつやまマイロードコミュニティ事業 まつやまマイロード照明灯スポンサー事業	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
		%	目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
	成果指標 (3つまで設定可)	まつやまマイロードサポーター活動団体数	団体	目標値	67	71	78	78	78	目標値	78
				実績値	71	74	77			達成年度	R5
達成度				106	104	99					
指標の種類		3.累計での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		活動団体数が減少しないよう努める。				
本指標の設定理由		安心して美しい道路環境の維持に取り組む市民の活動状況を示す指標であるため									
		%	目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			達成度								
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
		%	目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
	達成度										
指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標										
	成果指標	確実な事業実施により、目標を達成している。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	道路担当	連絡先	948-6478		
	部等長名	白石 浩人	課等長名	川口 征英	リダー名	主査	白石 剛史	担当者名	主任	山下 潤一郎
令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	道路担当	連絡先	948-6478		
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リダー名	副主幹	永井 英司	担当者名	主任	須井 健次

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51111	交通安全施設(二種)整備				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-			
施策	居住環境の整備					主な取り組み	-			
主な取り組み	生活道路等の整備・維持管理				市長公約					
取り組みの柱	道路パトロールを実施するとともに、市民ボランティアの活用を図り、道路やカーブミラーなどの交通安全施設の適切な整備・維持管理に努めます。また、ライフサイクルコストの縮減を図るため、予防的な修繕及び計画的な改修・更新を行います。									
総合戦略	基本目標	-				取組み				
	政策	-								
	施策	-								
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	道路法第16条(市町村道の管理)、42条(道路の維持又は修繕)、45条(道路標識等の設置)									
事業の目的(どのような状態にするか)	交通事故が多発している道路その他通学路などの特に交通安全を確保する必要がある道路について、道路標識、防護柵や区画線など安全対策に必要な道路付属物の整備を行い交通事故の防止と交通の円滑化を図る。									
背景(どのような経緯で開始したか)	交通事情の悪化による交通事故の増加に対し、早急な道路安全施設の整備が求められていることから、交通事故の防止と交通の円滑化を図る必要がある。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	交通事故が発生している市道、その他通学路などの特に交通安全を確保する必要がある市道について、道路標識などの整備を行い、交通事故の防止と交通の円滑化を図る。									
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し		「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由	一般交通の用に供される市道の整備であるため。					
始期・終期(年度)	平成	15	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	松山市一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費		目	道路橋梁維持費	R3予算措置時期	当初	9月補正	繰越
						R2年度	R3年度						
現計予算額(A)(単位:千円)						124,026			97,963				25,893
決算額(B)(単位:千円)						100,268			86,469				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金					0			0				0
	県支出金					0			0				0
	市債					0			0				0
	その他					0			0				0
	一般財源					100,268			86,469				
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算								工事請負費 86,469千円		工事請負費 25,893千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								予算額のうち、23,063千円は、前年度繰越額 9月補正で60,500千円追加		予算額のうち、11,493千円は、前年度繰越額			
予算執行残額(単位:千円)						(A)-(B)	23,758		11,494				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	区画線、防護柵、カーブミラー等の設置												
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			適切な事業の実施ができた。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		本事業の実施により交通事故の防止と交通の円滑化に資することができた。								
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない					公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			特になし				
R4年度の目標	対策工事を適切に実施する。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			交通事故が多発している道路、特に交通安全を確保する必要がある道路について、交通管理者である警察と連携し、区画線、防護柵、カーブミラー等の交通安全施設を整備する。				

令和4年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	計画担当	連絡先	948-6834		
	部等長名	白石 浩人	課等長名	川口 征英	リダー名	主査	加地 幸徳	担当者名	主任	渡部 聡
令和3年度	部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当グループ名	計画担当	連絡先	948-6834		
	部等長名	白石 浩人	課等長名	出海 恭輔	リダー名	副主幹	高田 智也	担当者名	主任	渡部 聡

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51111	私道整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-		
施策	居住環境の整備			主な取り組み	-		
主な取り組み	生活道路等の整備・維持管理		市長公約	-			
取り組みの柱	道路/パトロールを実施するとともに、市民ボランティアの活用を図り、道路やカーミラーなどの交通安全施設の適切な整備・維持管理に努めます。また、ライフサイクルコストの縮減を図るため、予防的な修繕及び計画的な改修・更新を行います。			-			
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	松山市私道整備事業実施要綱						
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市における私道(道路法の適用を受ける道路以外の道路で、一般通行の用に供されているもの)の整備を促進し、市民の生活環境の向上を図る。						
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和48年10月に「松山市私道整備事業実施要綱」を制定し、要件を満たす私道の路面の舗装に取り組んでいる。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	「松山市私道整備事業実施要綱」の要件を満たす私道を対象に、路面の舗装を実施するために工事請負費等を支出						
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	一般通行の用に供されているため			
始期・終期(年度)	昭和	48	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	松山市一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費	目	私道整備事業費	R3予算措置時期		当初
									R2年度	R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)						23,635		18,239			14,297
決算額(B)(単位:千円)						15,292		13,885			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金					0		0			0
	県支出金					0		0			0
	市債					0		0			0
	その他					0		0			0
	一般財源					15,292		13,885			14,297
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							工事請負費13,885千円			工事請負費14,297千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							予算額のうち,8,239千円は前年度繰越額			予算額のうち,4,297千円は前年度繰越額	
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			8,343		4,354			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	「松山市私道整備事業実施要綱」の要件を満たす私道を対象に、路面の舗装を実施する。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	適切な事業の実施が出来た。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、私道の舗装整備が図られている。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		引き続き適切な事業実施に努める。	
R4年度の目標	「松山市私道整備事業実施要綱」に基づき、適切な事業実施を行う。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		「松山市私道整備事業実施要綱」の要件を満たす私道を対象に、路面の舗装を実施する。	